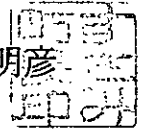


す 産 建 3 第 1 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

すさみ町長 橋本 明彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職より求められた意見・提案について、別紙により回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

和歌山県 すさみ町

全国的に和歌山県の道路整備が遅れていると言われている中で、紀南地方の道路整備の遅れは特に目につくところでもあります。

当町において住民の移動の9割は自動車に依存しており、道路のはたす役割は図り知れないものがあり、国道・県道・町道また、現在整備中である近畿自動車道紀勢線は住民にとって正に真に必要な道路であります。道路特定財源の一般財源化が言われており、今後の道路整備の財源については先の見えない状態ではありますが、道路整備が遅れている地方への財源の確保、予算の拡充と市町村の道路整備に有効な制度の創設をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

② ー 1 地域の現状と抱える課題

和歌山県すさみ町

現状	課題
当町の道路の現状は海岸線を平行に走る国道とそれを基点とした県道、町道とで構成されております。 地形も山林が町土の 9 割以上も占めている通り紀伊山系に連なる急峻な山々が海岸線まで迫り、道路もその急峻な山間地を通行することから、急カーブ区間、幅員の狭い区間が多い道路となっている。また、奥地の道路については袋小路となっている路線が多くう回路もない状態であります。	国道においては、住民生活、住民活動の基幹的な道路であるため、42 号線の線形改良により直線化、海岸に面した区間に対しては台風時の国道への越波対策により通行不能区間の解消。 県道においては、袋小路路線の解消や対向可能な幅員の改修、急カーブの改修。 町道においては、奥地集落への救急車、消防車等の乗り入れが可能な幅員の確保、対向区間の整備など効率化とスピード化に向けた道路行政が課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

和歌山県すさみ町

道路は住民の生活や生産活動にとって欠かすことのできない資本であります。
高齢化が進む中、急カーブ箇所解消、幅員の狭い道路の解消など通行の安全、安心に配慮した道路整備、車の大型化、高速化に対応した道路の整備に努めるとともに、防護柵やカーブミラー等の安全施設の整備に努め歩行者、特に高齢者、こども、身体障害者に配慮した道づくりを進めていく。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
地域の活性化、 救急医療への対応や災害に強い 道路の整備	近畿自動車道紀勢線の紀伊半島一周の 早期整備	道路整備により地方と都市の距離の 短縮が図られ人の流れ物の流れによ る地域経済の活性化や高齢化が進む 地方の住民にとっては救急医療への 対応もスピード化が図られ安心な住 民生活がおくれるなど、道路整備によ る効果は図りしれないほどのことが 将来にわたり出てくることに期待す る。	